

京浜港湾事務所



工事名 川崎港臨港道路東扇島水江町線東扇島アプローチ部橋梁下部工事  
 工期 令和元年11月22日 ～ 令和3年11月16日  
 施工会社 若築建設株式会社 横浜支店  
 工事内容 東扇島地区の既設道路と整備中の橋梁をつなぐ、東扇島アプローチ部橋梁下部工(基礎杭・橋脚)を施工します。

●本工事の施工記録



地盤調査  
令和2年2月



支障物撤去(松杭)  
令和2年6月



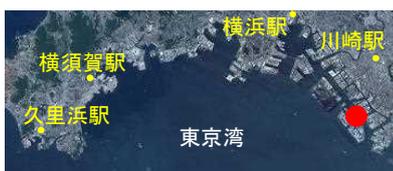
既製杭沈設  
令和2年8月

●進捗状況・お知らせ

地中にあった支障物の撤去が完了し、橋脚部の杭打ちのために地盤改良を行いました。  
 現在は杭打ちを進行中で、杭打ち完了後に橋脚建設のため仮設工(土留め)に移ります。

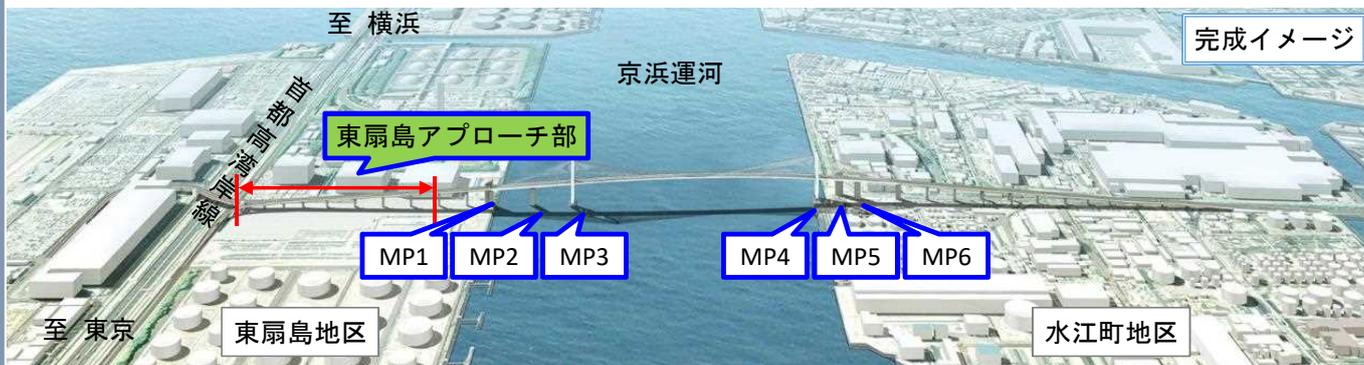


川崎港東扇島～水江町地区 臨港道路整備事業



年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
測量・調査・設計(施工検討含む)															
用地取得調整・工作物移設															
関係者調整等(近接施工・上部工施工)															
施工															

本工事



完成イメージ

### 川崎港臨港道路東扇島水江町線東扇島アプローチ部橋梁下部工事

施工状況

準備工

支障物  
撤去工

基礎工

仮設工

土工掘  
削

構造物  
構築

土工埋  
戻し

【写真①】地盤改良に使用する油圧ショベル



#### 仮設工－地盤改良

- ・【写真②】に示すように、杭打ち工事では大型機械を使います。機械が載っても傾いたり、倒れたりしないように作業部分の地盤を頑丈にする必要があります。
- ・このために地盤改良工事は【写真①】のような攪拌機をつけた油圧ショベルを使い、地面の中にセメントと水を混ぜた物を入れ、かき混ぜます。
- ・改良した地盤は、時間が経過するにつれて堅く頑丈になるので、強度を確認してから杭打ちの作業に移ります。

【写真②】杭打ちの状況



こんなに長い杭が、地面の中に入るの？！

【写真③】既製杭の内部



【写真④】杭と土砂掘削のスクリー建込み状況



#### RC橋脚工－既製杭工

- ・この杭打ち工事では、中掘り工法という騒音振動があまり発生しない工法で行います。
- ・コンクリート製の杭を、地表面から50m程度の深さにある頑丈な地層まで打ち込みます。杭の中は右上の【写真③】のように空洞になっていて、右下の【写真④】のように杭の空洞部分にスクリーを通し、スクリーで土を掘り出し、杭を打ち込んでいきます。
- ・この基礎杭が橋や自動車の荷重等を支えます。この工事では杭を240本打ち込みます。